

「勉強ができる」の二つの意味を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：「勉強ができる」には、二つの意味があるとのテーマですが、一つは何ですか。

A：（林明夫 以下略）あの子はよく勉強ができるねと、よく言われるのは、「授業中によく手があげられる」、「テストの点がよい」「通知票の評価がよい」「何かの試験に合格した」などだと思われます。要するに、「勉強の結果を出すことができる」ことが、一つめの意味です。わかりますか。

Q：はい、先生や家の人からよく言われるのでよくわかります。では、もう一つの「勉強ができる」の意味は何ですか。

A：これが今回のテーマです。本論で、少しゆっくり考えてみましょう。

Q：もう一つの「勉強ができる」の意味を考える

A：「ジー」と余り身体を動かすことなく机に向かい本を読んだり、ものを書いたり、問題を解いたり、考えたりすることができることが「もう一つの勉強ができる」の意味です。

Q：「ジー」と机に向かい続けることのできる人などいるのですか。信じられません。

A：「ジー」と余り身体を動かすことなく、机に向かい本を読んだりすることのできる人は、実は山ほどいます。

「ジー」と机に向かい本を読んだり、ものを考え、文を書き続けることのできるのは、「一つの能力」と言えます。本を読むことが好きな人や、ものを考えたり文を書き書いていて苦にならない人は、この「ジー」と机に向かい続ける「能力」をもった人と言えます。

Q：「ジー」と机に向かい続けることが「能力」の一つだとはおどろきました。

では、どうしたら、「ジー」と机に向かう能力は身につきますか。

A：好きな本を思い切り読むこと。好きな科目だけ思い切り取り組んでみる。書きたいことがあったら、気の済むまで文章にしてみる。やりたいだけ机に向かってやってみる。そうすると、自然に「ジー」と、しばらくの間机に向かうことが身につきます。何回か、没頭するほど机に向かうことが、「ジー」と机に向かう「能力」を身につけるきっかけをつくります。

Q：「ジー」と机に向かう能力が身につくと、どうなりますか。

A：「勉強ができる」の一つのめの意味である、手があげられるようになったり、テストや通知票でよい点が取れるようになったり、試験に合格できる等、「結果」を出すことができます。

秋も深まってきたので、好きな作家の本でも取りだし、一冊一気に読んでしまい「ジー」と机に向かう能力を身につけるよう、取り組んでみて下さい。